
初の試み、県老連地域懇談会を海部郡で開催

～各老連の取り組みや実情について意見交換～

県老人クラブ連合会の本年度の新たな試みとして「地域懇談会」は、各市町村老連や単位クラブの特色ある活動の事例や会員増強の取り組みについて意見交換をするとともに、県老連への要望などを聞き、今後の事業及び運営に生かそうとするもので、第1回目となる懇談会を去る11月26日（木）、美波町にある南部総合県民局美波庁舎において、海部郡の老人クラブを対象に行いました。



当日、海陽町老連が行事のため不参加となりましたが、美波町及び牟岐町から役員等、各10名が参加、県老連からは伊丹会長をはじめ、坂東副会長及び吉尾副会長、県老連事務局が出席しました。

開会にあたり伊丹県老連会長から、本懇談会の趣旨とあわせて、忌憚のない意見を出し合って有意義なものにしたいと挨拶、その後、各町老連の現状や取り組み内容をそれぞれ発表いただきました。

牟岐町では、毎日の子どもの見守りパトロールの他、年2回行う一斉清掃や運動会、芸能大会、年10回行われる高齢者大学などが主要行事となっており、その他カラオケや踊りなどのサークル活動も行っている。

美波町からは、年8回行われる老人大学の他、定期的に行われるニュースポーツ大会、グラウンドゴルフをはじめ、仏画やダンススポーツ、コーラスといったサークル活動も盛んである。また、子どもたちとの交流に力を入れ、低学年は昔の遊びやものづくり、高学年はニュースポーツや戦争体験の講話といった、各学年に応じた内容で交流をしているとのことでした。

資料提供のあった海陽町では、小地域のサロン活動をはじめ、各地区での活動が活発に行われており、町老連では芸能大会やグラウンドゴルフ大会、日帰り旅行などが主要行事となっています。

意見交換では、会員増強に苦慮しているといった意見がある一方、牟岐町ではクラブ新設の動きがあるといった明るい報告もありました。

この地域懇談会は、今後県内各ブロックごとに順次開催する予定です。